

# 高退協ニュース

高知高退協  
事務局  
No.171  
2011年  
7月5日

〒780-0850 高知県高等学校退職教職員協議会  
高知市丸の内2丁目1番10号  
高知城ホール高退組気付  
Tel 0885582256  
0165052511893

## 第21回 全退教定期大会報告

小澤幸次郎・幸泉

東日本大震災から3カ月、いまなお復興が遅々として進まない中、犠牲者を悼み、避難者の皆さんへ思いを馳せながら、神奈川県湯河原町において、開催されました。全国から45組95人(高知からは三谷、小澤)が参加し、活発な討論で、2011年度の活動方針を確立しました。総会では、議事に先立ち、福島高退教の仲間と「原発の安全性を求める福島県連絡会」代表の早川篤雄氏より、「福島第一原発の事故の実態と原因」「政府と東電の対応と問題点」などの話を聞き、改めて東電と政府の「安全神話」の偏り、さまざまな管理など、原発依存のエネルギー政策転換を学びました。二日間の討論では、震災からの復興を第一に、国民の求める新しい日本の姿、退教の果たす役割とあり方等について、各地の経験をもとに深めあうことができました。一人ひとりの会員を大事にする機関紙(ニュース)の手配りと訪問活動、声かけや安否確認、会を活性化させる多様なサークル活動、心を開きあう総会と懇親会、花見の会、旅行会・散策の会等々、「楽しみと交流」を基本にした会独自の活動が豊かに語られるとともに、「子どもと教育を守るとりくみや」「九条の会」・年金・医療問題で、地域での共同を発展させてきたことなどが報告され、地域で果たす退教の役割がますます大きくなっていることが確認されました。全退教の存在意義は何か、1つは「ひとりぼっちをなくそう」のことはで表されるように、「会員のつながりをつくること」です。そのためには、

高教組より

### 「日の丸」

高教組は、3月1日付けで県立学校長宛に国旗・県旗・校旗の常時掲揚を実施する依頼文書を発しています。高教組は、県立学校における「日の丸」の常時掲揚については、思想・良心の自由、学校の自治、教育の自主性と自由を尊重し、常時掲揚を押しつけないことを県教委に申し入れていきます。

### と学警連携

米満敏孝

ました。○厳しい財政の中での、優先順位をまちがえていないか。○国旗や県旗などは同じサイズの旗であれば、県教委が一括発注をすれば、単価も安くなり税金を有効に使えたのではないか。○1校が同時に、あるいは日付をかえて同じ旗を2枚購入している学校がめだつ。

人権と民主主義・教育と自治を守る高知県共闘会議(人権共闘)が開示請求した、2010年度・2011年度に県立学校が整備した国旗等掲揚台の設置に係る支出命令書および国旗、県旗及び校旗の購入にかかる支出命令書が開示され、分析結果がまとまり

### 夏季学習会

日時 8月23日(火)午後1時～  
会場 高知城ホール 2階せんだん

内容  
講演1 「相馬をたずねて」  
震災ボランティアで学んだこと  
講師 橋元 陽一

講演2 「自己表現のたのしさ」  
さをり織りでたのしむ  
ケーナでたのしむ  
人生をたのしむ  
講師 川村かつ枝

終了後 懇親会を予定しています  
会費 5,000円

6月22日、高知県個人情報保護制度委員会が高知城ホールで開催され、「学校・警察連絡制度」にかかわる「学校から警察」への個人情報提供が条件付きで承認されました。今回で4回目の審議。継続審議とされた「学校から警察」へ情報提供できる事案「家出、行方不明事案」「不良交友事案」の2点について、県教委は要綱(案)・運用ガイドライン(案)を提示して、説明を行いました。

運用ガイドライン(案)に対し、様々な意見がだされ、成文化されないままの採決は、運用状況を検討委員会に報告すること義務づけたとしても、審議に対し検討委員会として実施者(県教委)に丸投げしたことになる、疑問が残ります。

### 福島県南相馬市でのボランティア活動に参加して

橋元陽一

六月一日朝六時に、車で高知市を出た。塚地さち県会議員を団長に、五人で南相馬市をめざした。ナビの走行距離は一一五〇kmを示し、二時間位で運転を交代しながら、北陸自動車道から新潟を経由して磐城自動車、東北自動車道に入り、福島市で一泊した。一四時間半かかった。翌朝、県道一二号線で飯館村を通り、南相馬市に入り、まず市庁にある教育委員会に寄り、現地から要請のあった学校給食の食材の鯉節と乾燥シイタケを届け、同市原町の民商事務所に設置されたボランティアセンターに着いた。

南相馬市は、南側から二〇km圏内に入る小高区は立ち入り禁止の警戒区域、二〇～三〇km圏内の原町区は緊急時避難準備区域、三〇km圏外の鹿島区の旧三町が合併した福島県南部に位置している。訪れた原町区の子どもたちは一四〇〇人全員が、鹿島区の小中学校に通っていて、昼間は町中に子ども姿は見えない。四日間、北側にある相馬市とを国道六号線沿いに数回往復した。並行して走っている常磐線の線路はいたるところで寸断されて、開通の見通しすら立っていないという。

高退協定期総会は、43名の参加で活発に意見交換がされた。

発言の中に「情勢に機敏に対応する執行」「軍事化の動きを阻止する運動」「現職教職員との日常的な連携」等々。

これを受けて、第1回事務局会が開かれた。学校警察間の補導情報提供に関する問題点について、高教組書記長から説明があり、元生徒部長が長年の経験を語り問題点が確認された。親睦が主になりつつあった組

ないという。国道から海に近づく、津波ですべてが破壊されて、何もない想像を絶する光景だ。重機が入り撤去作業が進んでいる区域と、まだ被災したままの状態の区域の地べたに雑草が緑色が映える。

南相馬市は、津波被害に加えて、匂いもない目にも見えない放射能汚染に脅かされながら生活されている。7万人の市民のうち、6万人が一時避難をしてから、現在は四六%が戻っておられるという。海岸線の光景と異なり、人気のないゴーストタウン化した異様な光景につつまれている。

ボランティア活動は、支援物資を届けたり、今何に困っているのかを聞き取る活動をした。大した支援にはならないと思っていたが、少しの野菜などでもたいへん喜んでいただき、また聞き取りでは一軒で一時間近く話し続けられ、不安、怒り、不満の思いを吐き出される。

今、毎日の生活での支援・救済が求められているのに、国の施策は後手後手となり、放置されてきている状態を目の当たりにした。TV画面とは異なり、津波と、原発事故による放射能汚染の恐ろしさを少しでもからだで捉えることができた。

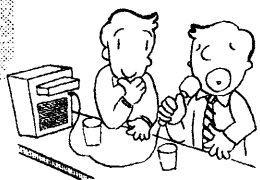
(八月の夏の学習会のと き数枚の写真で、また報告をさせていただきます。)

### 高退協さらなる飛躍を!

織は、運動にも更に力を入れなければならぬ。又会員の親睦も大切であるとして、囲碁クラブが復活、将棋、カラオケクラブも誕生した。昨年、恒例の一泊旅行が中止され、今年も四プロ交流学習会も中止となった。今、諸々の行事も再検討する時期に来ているのではないだろうか。例えば、「望年・芸能作品展」は、作品展を、総会か、夏季学習会の時に開くとか、一泊旅行も、多目的旅行を考えてはみてはと思う。w

### 高退協囲碁大会のご案内

高退協囲碁倶楽部を発足しました。記念の大会を下記日時にて開催します。  
 とき 2011年7月25日(月) AM10時  
 ところ 山原健二郎記念資料会館2F  
 2丁目電停南(駐車場なし)  
 問い合わせ 森下 0889-24-5964 まで



これで廣作

横田 慧

みなさんがもし、十六回六十八時間もかけて描いた絵を、他人の名前で展示されていたら、さぞかし驚かれることでしょう。きょうの話の「落ち」がそれです。

またまた四十年前も前の話で済みません。全国の教職員が、理不尽な超過勤務、過労に抵抗して、超勤手当をよこせと訴えました。政府はついに音声を上げて、給与の調整額四%、特別手当三%(発足時)を一括教員に支払うという新法をつくりました。

これは、今後の無原則な超勤命令を合法化するものと絶対反対の者もいれば、それまでの経過をみて、超勤はクギをさしてとめ、手当は教育労働が勤務時間内に納まらないうことへの一定の譲歩として受け取ろうという考えでもありました。私たちは後者でした。

そうなる、クギのさしかたが問題です。県教組で法制を担当していた私は、県教委に、このことの協定を目標に交渉に応じるよう要求しました。案に相違してすんなり交渉が始まりました。それもそのはず、二年前には、山原衆議院議員が誕生し、この年の知事選では、中内力氏と氏原一郎氏の一騎打ちが始まっていて、下馬評では氏原当選も取りざたされて、争いがあつて、政治闘争が改良闘争にとつてどんなに力強い味方かこ

### 高退協カラオケ同好会の発足!

高退協でもついにカラオケ同好会が誕生しました。「歌」は老化しつつある脳を活性化し日頃のストレスを発散させるのに絶好です。沢山の参加をお待ちしています。  
 \*とき 2011年7月23日(土) 14時~  
 \*ところ 「よいこのクラブ」(帯屋町・つくしの東側)  
 \*参加申込み 井垣 088-849-4628 森下 0889-24-5964



のときほど痛感したことはありません。

県教委の担当I氏は、法律に詳しく、教委内の切れ者と聞きまわりました。しかし、交渉を重ねる内に、協定文はすべて私に任せると言ってくれました。団交十六回、のべ六十八時間、私の交渉メモ六万字余を尊重してくれたのです。合意した内容は、高知県教組の「四十年史」P541をごらんください。思い出して少し述べますと、第一に、教員の時間外勤務は無いのが原則。緊急、やむをえないと言っても校長の独断などは許されぬ。超勤の項目は四つに限定する。教育公務員特例法十九条、二十条の自主的研修権を尊重する原則などをきちつと定めました。勝手に変えることのないように、この後も交渉による了解に基づくことと決めました。

さて、二学期末の学校に行つて驚きました。独立教組の掲示板に、「独立教組と県教委の協定成る」とあるではありませんか。つくった私ではあてません。こらえかねて、独立教組の代表格の人に言いました。この文はまぎれもな一字一句私の作ですが、執行部に聞いてみてくださいますか。翌朝、その掲示は取り外されてしまいました。まともに「癒着」の証拠を見せつけられ、私までしばらく不愉快でした。これぞ廣作の典型です。

たいも(さといも) 讚  
その1

窪田一郎

メーデーの後、日曜市を東から西まで歩きました。つくね芋と八つ頭というた芋の種芋を求めてです。シヨウガがある店で「つくねは」と聞くと、ないとのこと。隣の店の人が「家にあるき返しちやお」とのこと。この人は我が家からほど近いお百姓さんです。

変わった品種の芋を二種類買いましたが目指す八つ頭はなく、諦めかけたところ市の西隣近くにありまして。

た芋の袋を持って、高知城ホールの懇談会に臨みました。高岡郡の選挙で健闘した橋元氏もいました。本当に惜しかった。四年後期待です。

席上、た芋談義も大分、島本聡氏から「た芋をテーマにニュースに寄稿を」と言われ、冗談と思っていた

県議選に挑戦して ②

橋元陽一

高岡郡七町村には五四、五〇〇余の有権者が在住し、海・山・川に囲まれた広さは香川県に匹敵します。この広い選挙区を半年間、現職の共産党町村議会議員、元議員、党派を超えた地域の活動家の方々と一緒にいさつ回りを始めました。歴代の候補者の明神孝行氏、松本茂夫氏、森山定幸氏に会うことができ、決意したことには新たな緊張感を覚えました。また七町村の首長や職員、議会事務局の方々にも会い、形式的な挨拶をすることも、トップの姿勢で庁舎内の雰囲気にも大きな違いがあることを感じました。

農林漁業を中心にした高岡郡では、人々が谷間の奥の奥まで入り、生活してきています。ところが、かつて広葉樹林だった山は、スギ、ヒノキの人口針葉樹林となり、四〇年、五〇年経って大木化しても、経済的価値はマイナスです。しかも大量密植人工林の生態

ら電話があつてこの始末です。

さて、た芋は、約四〇種がこの日本では作られていくそうなんです。種芋を植えるとその上に大き親芋が成長します。この周りに沢山の子芋が出来ます。品種によつては、孫・ひ孫と三〇以上も出来る倍率の高いものもあります。一番人気のある赤目(セレベス)は、十もつけばオンの字です。

私が執念深く追い求めた八つ頭は、親子がはつきり分かれず、倍率の低い品種です。食べる時には親子を切り分けねばなりません。ただた芋の王様といわれるだけあつてすこぶる美味しい品種です。

今、た芋に眼のない私ですが、子ども時は嫌いでした。食べ出したのは高校生の頃からで、だんだん年とともに美味しくなってきました。それで毎年5・6種類作つて楽しんでます。

系は破壊され、生産性ゼロの状態です。

この「豊富な森林資源」を抜本的なエネルギー転換政策の一環として活用していく道を国策としていくことを提案しながら、四〇年、五〇年かけて山林を再生していく道以外に、地域再生の道はないと確信しています。

その政策づくりは、上からではなく地域で苦労されながら働き、子育てをして来られた方々と知恵と力を合わせてすすめていくことができるかと確信しました。

急峻な森林から切り出す技術や切り出した後の山の再生、管理などについて、地元の英知と豊富な経験を受け継ぎ生かすことが出来る条件は時間的にも限定されています。この五年、一〇年の間に政策を具体化していくことが、県政の重要かつ緊急な課題だと捉えています。



生きる場所を取り戻し築く

吉田正美

みなさん、お元気にお過ごしでしょうか。

今年3月31日、21年間の教職員組合の専従役員の仕事を終え、定年退任しました。この間、高知県の多くの組合員のみなさんに励ましをいただいたことに、あらためてお礼を申し上げます。たいした仕事はできませんでしたが、病気やけがで周りの人たちにめいわくをかけることなく定年をむかえられただけでも、よかつたのではないかと思います。今年の4月1日をもって無事、高退教に加入させていただきました。今後のみなさんのおつきあいを楽しみにしています。

さて、4月からは毎日が日曜日と楽しみに待ちかまえていましたが、全教本部の専門委員なる仕事をする事になりました。「東日本大震災からの復旧、復興にむけての教職員組合としての活動を担当する全教本部の再雇用職員」と申し上げればご理解いただけますでしょうか。ほとんどは全教本部で仕事

をしています。この間、専門委員としての活動のため、訪れた市町は、盛岡市、女川町、仙台市、石巻市、名取市、松島町、東松島市、多賀城市、七ヶ浜町、福島市、いわき市、郡山市などに及びます。被災市町村のほんの一部ですが、震災問題担当の専門委員の仕事を引き受けなければ、一生訪問することはないのであろう市町も多くあります。

新聞や資料、本を読んだり、話しをきいたり、被災地を訪問しながら、毎日のように、震災と復旧、復興のことを考えています。全教も編集に関わっている教育誌「クレスコ」は7月号で、「東日本大震災学校・教育は今」と題した特集を組みました。その中で大学教員の中西新太郎さんは、「いま私たちの社会がとりくむべき課題を端的に表現すれば、『生きる場所を取り戻し築く』という1点に集約される」と指摘しています。専門委員の任期は半年。任期が終了する頃に、またご報告をいたします。

機関誌『こうたいきょう』

第32号原稿募集

今号は『防災特集』です。

東日本大震災では、6月15日現在、死者15,434人、行方不明7,742人、避難・転居をしている人は124,000人など、未曾有の大災害となっています。原発は、人類の将来を左右する大問題となっています。高知県でも、南海地震や、台風災害、集中豪雨など大きな被害を経験しています。思うこと、感じること、訴えたいことは沢山ある事と思ひます。

防災のあり方を含めて何でも書いてください。

特集は3000~4000字程度以内  
その他の論文は3000字以内でお願いします。

原稿締め切りは10月末です。

『特集』以外の原稿

随筆、自由論文、紀行文、短歌・俳句・川柳、詩  
追悼文、活動報告、地域での活動、夏季学習会報告  
近況報告その他

俳句

四月十六日 土曜

県立牧野植物園

合田 青幹

春愁をなほ断ち切れぬ俣に在り  
せせらぎの音流れ込むアサザ池

中内 英明

四阿へ坂道くの字朴芽吹く  
早苗響の蛙の宴夜もすがら

中内 みち代

沼杉の芽吹きこまこま蛙鳴く  
花終へし三葉つじの三葉萌ゆ

小笠原さちを

囀や糞をおでこに博士像

介良富士をめぐりし田植機

もくもくと

五月二十一日 土曜

いの町 土佐和紙 工芸村

合田 青幹

はた含守る女主の笑顔涼

藤椅子も庭のベンチも南向く

吉本 伸秋

巖の千滴び踊る古筵

峡谷を映しと匂ふ花棟

中内 英明

静は瀬に蛇行に傾ぐ竹の秋  
解禁の鮎の背越しといふ料理

中内 みち代

一と棟は紙漉工房山法師

花樽ベンチに一人二人かな



川柳

たんぼぼの章②

小澤 幸泉

加速する日々をただただ  
いとおいしい

口車乗せられている  
乗っている

星空の下に悲しい  
蟻がすみ

立ち上がれ怒れ孤独の  
高齡者

耐え難き萎えた手足の  
先のさき

そのままでよいと納得  
させられる

悲しみが私のなかで  
とけ始め

目薬の恵みか神に  
生かされる

鉛筆のかすれた文字の  
闘病記

箱庭に母の命が詰め  
過ぎる

主な活動と参加(活動日誌)

五月

十日 第四十一回総合文芸展

十二日 高退協ニュース五月号  
発行・第一回事務局会議

事務局歓迎会

十四日 子どもと教科書全国  
ネット四国ブロック交流集会

十八日 県原水協年度総会

二十日 高連連総会

二十二日 2011年度原水爆禁止  
国民平和大行進・集会

二十六日 (退協教)定期総会

二十八日 消費税をなくす会  
再建総会

六月

四日 県民集会 県民・市民の  
声を図書館づくりに!

五日 第51回高知市母親大会

七日 第21回全退協総会(8日)

十一日 脱原発100万人  
アクションin高知

十三日 (県退協)定期総会

十四日 革新総代表世話人会

十六日 高退協読書会

十七日 県高連連幹事会

二十三日 学習会 福島原発  
事故を考える

二十六日 シンポジウム 学校  
警察連絡制度を考える

三十日 2011ビースウェイブ  
inこうち

七月

三日 第57回高知県母親大会

五日 高退協ニュース七月号  
発行 第三回事務局会議

家庭菜園懇談会#6の案内

日時を気にしないで、農作業に勤しんでい  
たら、懇談会のことまで忘れていました。  
電話で急遽会場まで駆けつけると懇談会  
の発起人である、金八先生の1つ上の金さき  
う先生が参加され「省エネ農法やコンパニ  
オン・プランツのことを熱心に話されました、  
また田村さんは庭に すぐた実生の琵琶が  
美味しいこと熱弁されました。#6懇談会は  
日時 7月14日(木曜)午後2時  
場所 セルフィーユ(ブリコ西隣)にて

な糺の森を、「みたらし団  
子」を手に玉砂利をふみし  
めバス停に向かっていると、  
硬貨を強く握りしめて夏祭  
りをはしごしていた遠い昔  
を想い出した。

御手洗祭りは、毎年夏の土用  
丑の日です。ぜひ、お出かけく  
ださい、何十年も若返りますよ、  
キット。

次回予定

山形 山寺 立石寺

ただ一本残りし「希望の松」の  
歌 作詞作曲 やなせたかし氏  
(高知新聞「オイドル絵っせい」)

その夜から突如溢れし言の葉を  
リズムに刻む『震災歌集』  
(非人長谷川権氏の緊急出版)

ツインターの和合亮一「詩の磯」  
万余の人の心揺さぶる  
(福島被災詩人、高校教師)

言葉の力

叶岡淑子

来る日も来る日も看護してくれ  
し広瀬さん、松本さんにも頭の  
下がる  
(高退協会員の  
広瀬和子さん・松本瑛子さん)

愛惜三首

山本晶子

渾身の力をしぼりパリに行き  
その後逝けり三善孝子さん  
(高退協会員)



安芸市にて全国書道展はじまり  
ぬ妻と毎年ゆきし時季なり

帯屋町歩まばあの店この人ら  
みな懐かしき杖曳きながら

一時帰省

榊原忠彦

帰省して部屋ごとに出会ふ妻の  
もの「そうか、もう君はいない  
のか」

三十五皿の思い出其の十一

下鴨神社 御手洗祭り

松山 和雄

暑さの夏は細身の私でも  
やはりこたえる。土用のこ  
ろの京都ではなおさらのこ  
と。

日中いくつかの寺社を巡  
り、早めに宿に帰り一休み  
していると、思いのほか長  
く寝入ってしまった。夕食  
に外に出ると「ムワツ」と  
する熱気が容赦なく襲って  
きて、たまたま目の前の居  
酒屋に入った。食事を済ま  
せて会計をしていると、レ  
ジの奥に貼られた下鴨の夏  
祭りのポスターを目にして、  
そのままバス停に並んでし  
まった。

駅前からのバスには下鴨  
が近くなるにつれて、次々  
と浴衣姿の人々が乗り込ん  
でくる。夏祭りに出かける  
なんて何十年ぶりのことだ  
ろう。

夕刻の境内に足を踏み入  
れると、見慣れているはず  
の楼門が、提灯の明かりに  
照らされ、いつもとは違っ  
た表情で出迎えてくれる。

人の流れにまかせて歩く  
と御手洗の池が現れる。ズ  
ポンをたくし上げ、買い求

めたろうそくに火を灯し、  
池に足を踏み入れる。鴨川  
からの湧水だというひざ下  
ほどの水は、思ったよりも  
ずいぶん冷たい。池の底  
には、拳ほどの玉石が敷き  
詰められている。それらの  
石がひと足ごとに足裏を絶  
妙に揉みほぐし、歩き疲れ  
てほてった足にはとても気  
持がいい。手にしたろうそ  
くの炎が消えぬよう、足指  
の感覚に気を配りながら、  
ゆっくりとゆっくりとすり  
足で進んでゆく。  
池に架かる橋をくぐると、  
やがて一面にろうそくが妖  
しく揺らぐ対岸にたどり着  
く。手にしたろうそくをそ  
くと蟬燭立てに置いて振り  
返れば、浴衣姿の老若男女  
の顔がユラユラと揺らぎな  
がら、つきからつきとち  
らに向かってくる。なにや  
ら、幽玄の世界に引き込ま  
れたようだ。  
岸に上がり人ごみを抜け  
て本殿前の広場から楼門を  
抜けると、そこは祭りの夜  
らしく多くの夜店が立ちな  
らび、ひときわ賑やかだ。  
いつもは、昼間でも静寂